

資料3-2 各委員・河川管理者の提案内容

返信委員数 6 名

2001.10.26現在

	委員名	「部会での検討が必要」と考えられる検討項目とその内容	課題等について話題提供の希望について		部会の進め方や検討内容等へのご意見
			a. 話題提供のテーマ・項目	b. お話いただける内容	
1	川端 善一郎	別シートあり(P.2)	1) 水位変化が淡水赤潮の発生に関係する 2) 汚水処理場からの廃水が河川に与える影響 3) 多様な生物が生きる水域は、生物量の変動が安定になる (琵琶湖そのものに関する情報は持っていません。関連する話はいくつかあります。ただし、この会の話題提供にあうかどうかはわかりません)		
2	倉田 亨	1. 河川の持つ「自然の摂理」に対する機能についての認識(河川をどう考えるか) 2. 琵琶湖は約50年前には1万t強の漁獲をあげ(40種類以上の漁法・漁業種類があった)、農水省では海面漁業に準じた扱いをして来た。今日の漁業壊滅に至った原因に総合開発に伴う土木・河川整備が関わった原因を詰めておく必要がある。琵琶湖の将来にとっても、河川・湖沼水系整備のあり方を考える上でも「生きたテキスト」になる筈である。 3. 治水・親水・利水を十分果たせる将来計画を立てる方策を考える。 4. 河川と湖面の漁業への取組み(県行政と漁業者の努力)	左記の2.と1.(4.)	時期...年内はスケジュール的に無理。(忙しいが、何としても出席して話の進み具合はホローしたい)	県がアユ種苗生産に力を入れているところを委員方に見て欲しかったのだが…。視察がだめなら(安曇川)、解説する機会を望みたい。
3	寺川 庄蔵	1. 丹生ダムをはじめ、湖周辺ダム計画の再検討 2. 固有種、外来魚と冷水病 3. 集水域におけるゴミ処理 4. 住民意見の聴取、反映方法	丹生ダム計画を検証する	丹生ダム計画は、なぜ見直す必要があるのか。	-
4	西野 麻知子	別シートあり(P.3)	別シートあり		
5	三田村 緒佐武	流域委員会で検討すべき課題をまずあげます。 (1) 委員会という河川とは何か。 水系全体とおよぼす範囲を含む、水系全体、河川の本支川 (2) 上記のうち、河川生態系(河川環境の水理、水質、生物など物質循環系としての生態系)の維持機構と河川開発の適正規模 (3) 国民(市民)が河川に何を望んでいるのかの集約と、それに答えるための行政の基本的あり方とは何か。 (4) 上記を通しての環境教育。すなわち、市民(学校教育での児童、生徒を含む)の主体的環境観の育成と組織としての客体的環境観の規範の構築。 琵琶湖部会では、上記の基本的視点に沿った琵琶湖とその集水域の動態把握、ならびに下流淀川水系へ及ぼす影響、と水系開発のあり方を議論して欲しい。	-	-	-
6	村上 悟	別シートあり(P.4)	河川台帳と湿地目録(まだ勉強不足なのでお話できるまでには時間が必要ですが、こういったことをお話ししたい、ということで挙げさせていただきます)	河川法の目的に「環境」と「住民参加」が加えられたのに応じて、「河川台帳」の項目や運用の仕方にも変化が必要であると考え。ラムサール条約の「湿地目録」を横目に見ながら、この台帳の意義と今後の役割について議論する。	特にありません。
7	河川管理者	別シートあり(P.5~10)			